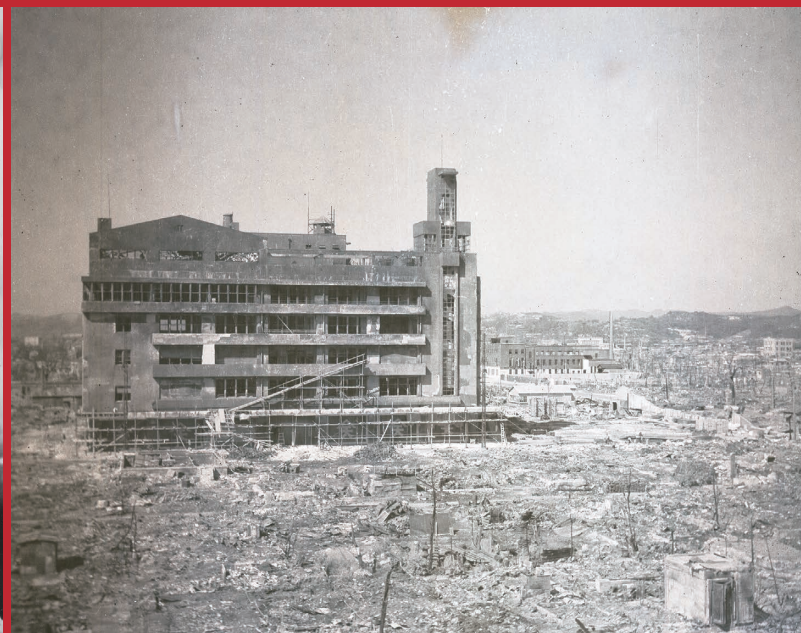


第48回岡山戦災の記録と写真展

戦後80年 空襲と占領——復興と発展の源流



①空襲を受ける岡山市街地 原資料：アメリカ国立公文書館所蔵 工藤洋三提供



②空襲後の天満屋岡山本店周辺 1945年10月 吉田堅撮影



③進駐軍のパレード（東京）



④岡山駅東口 1952年 衣川太一コレクション

2025年 6月7日(土)～7月6日(日)

会場：岡山シティミュージアム4階・5階展示室 5階岡山空襲展示室

開館：10時～18時 ※入館は17時30分まで

休館日：月曜日

入場
無料

主催 岡山市 共催 岡山市教育委員会 後援 岡山県教育委員会

展示協力 岡山県立図書館 岡山市立中央図書館 岡山大学文明動態学研究所

神戸大学国際文化学研究科長志珠絵研究室 ノートルダム清心女子大学国際文化学部貴志俊彦研究室

EXHIBITION
ROOM OF
THE
OKAYAMA
AIR RAIDS

岡山空襲展示室

第48回岡山戦災の記録と写真展

2025年6月7日(土)～7月6日(日)

戦後80年 空襲と占領——復興と発展の源流

休館日：月曜日 開館時間：10時～18時 ※入館は17時30分まで



アジア・太平洋戦争のさなかの1945年(昭和20)6月29日、岡山のまちはアメリカ軍の爆撃機B-29による空襲を受けました。これにより当時の市街地の63%が焼け野原となり、多くの人々が傷つき亡くなりました。アメリカ軍による空襲は日本の各地におよび、広島と長崎への原爆投下も含めて66の都市が大きな被害を受けました。そして、8月に終戦を迎え、焼け跡からの復興が進むなかで、連合国軍による日本の占領統治が始まりました。

これらの出来事は、今からちょうど80年前に起こったことです。

戦後80年という節目の年に開催する本展覧会では、大きく3つのことを紹介します。ひとつは、アメリカ軍による日本そして岡山への空襲はどのように行われ、どれだけの被害をもたらしたのか。もうひとつは、戦争が激しくなるにつれて当時の人々の生活はどのように変化したのか。そして、戦後のまちとくらしの復興と進駐軍による占領はどのように進んだのか。

進駐軍の占領政策は、日本の生活様式や文化形成に大きな変化をもたらしました。なかでも、アメリカ軍に比べてイギリス連邦軍も進駐した岡山は、全国的に見ても特異な状況だったことが最近の研究によってわかってきています。これらをさまざまな記録と資料をひもときながらご紹介します。

この展覧会をとおして、戦争と平和について、そして私たちがくらす岡山のまちの歴史について、改めて思いを深めていただければ幸いです。

岡山空襲について

1944年から1945年にかけて、日本全土の市街地を対象とした大規模な空襲が米軍によって行われました。岡山市の場合は1945年6月29日に大規模な空襲を受け、当時の市街地の63%を焼失し、少なくとも1737人*の死者が出ました。(*2000人をこえるという説もあります。)

記念イベント【申込不要・先着順】

①岡山空襲体験談を聞く会

話者 岡山空襲体験者 聞き手 岡山空襲展示室学芸員
日時 2025年6月14日(土) 13時30分～15時
会場 岡山シティミュージアム4階講義室
定員 80名

②講演「イギリス連邦占領軍と岡山」

講師 貴志 俊彦さん
(ノートルダム清心女子大学教授・京都大学名誉教授)
日時 2025年6月22日(日) 13時30分～15時30分
会場 岡山シティミュージアム4階講義室
定員 80名
※①②とも、当日13時から開場・受付開始予定です。

学芸員による展示解説【申込不要】

①11時からの日(各回30分程度)

6月21日(土)、29日(日)

②14時からの日(各回30分程度)

6月8日(日)、15日(日)、28日(土)、7月5日(土)、6日(日)

会場：岡山シティミュージアム4階展示室

(各回の開始時間までに会場入口にお集まりください。)

6月29日(日)午後2時43分から4時7分(予定)まで、岡山芸術創造劇場ハレノワ大劇場にて岡山市戦没者追悼式を開催します。(どなたでも参列できます。開始時間までにご着席ください。)

【お問い合わせ】

岡山空襲展示室
TEL:086-253-7070

【会場のご案内】

岡山シティミュージアム
岡山市北区駅元町15-1
TEL:086-898-3000
JR岡山駅から東西連絡通路で直結



岡山空襲で使われた2種類の焼夷弾



アメリカ進駐軍岡山駐屯軍の司令官 初代ローパー代将(右)と2代コート 代将(左)の表記がある缶詰ラベル

昭和光文庫(岡山県立図書館寄託)

※オキュパイドジャパン(Occupied Japan)
＝「占領下の日本」の意味



バラックで営業する靴屋 1952年 衣川太一コレクション

・諸事情により会期や内容等が変更になることがあります。最新情報は岡山シティミュージアムや岡山空襲展示室のHPにてご確認ください。

岡山シティミュージアム：https://www.city.okayama.jp/okayama-city-museum/ 岡山空襲展示室：https://www.city.okayama.jp/okayama-city-museum/0000022330.html

・本展覧会は、JSPS 科研費 JP22H03885 の研究成果の一部を活用しています。また、岡山大学文明動態学研究所 2024 年度共同研究プロジェクト「占領期カースライド写真がつなぐ岡山と世界」、ならびに「占領期カラー写真資料による歴史実践」研究会(神戸大学国際文化学研究所)による研究成果も活用しています。